

業務棚卸評価シートの見方

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

※本紙はあくまで記入例であり、実際の評価結果と記載内容が一部異なる場合があります。
※評価は平成28年6月1日時点で
行っています。

1 事業の概要と実績

| | | | | | | | |
|---------------|---|--|-----------|---------------|-----------------------|---------------|-----|
| No. | 4 | | | | | | |
| 事務事業名 | ごみの減量化・資源化に関する啓発事業 | | | | | | |
| 事業の目的 | ごみに関する情報発信をするとともに施設見学会や環境学習を実施し、市民の意識の高揚を図る。 | | 事業の目標 | ごみの資源化の促進 | | | |
| 事業の概要 | 各種廃棄物処理施設の施設見学会の実施や、「ごみ通信ちがさき」の内容の充実、及び、小学生や未就学児への環境教育のためのカリキュラムの充実を図る。 | | | | | | |
| 対象 | 実施計画で定めた指標等を記入しています。 なお、第2次実施計画と第3次実施計画において指標が変わった場合については、2段階さきのうえ、カッコ書きで「第2次～」または「第3次～」と示しています。 | | | | | | |
| 指標 | 啓発事業回数 | | | | | | |
| 27年度(第2次実施計画) | | 28年度(第2次実施計画) | | 29年度(第2次実施計画) | | 30年度(第3次実施計画) | |
| 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 |
| 30回 | 44回 | 第2次と第3次において指標が変わった場合については2段階書きとし、第3次の指標に対する平成27年度の実績はカッコ書きで示しています。 | | 30回 | | | |
| 事業費 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | ※金額については1円単位で記入してください | | |
| | 実施計画事業費 | - | 2,785,000 | 2,313,000 | 2,081,000 | | |
| | 予算額 | 3,530,000 | 2,785,000 | | | | |
| | 決算額 | 3,225,128 | | | | | |
| | 執行率 | 91.4% | | | | | |
| 財源内訳 | 従事者数 | 0.54 | 1.04 | | | | |
| | 職員 | 0.49 | 0.99 | | | | |
| | 臨時・非常勤等 | 0.05 | 0.05 | | | | |
| | 国庫支出金 | | | | | | |
| | 県支出金 | | | | | | |
| 地方債 | | | | | | | |
| その他 | 360,000 | 360,000 | | | | | |
| 一般財源 | 2,865,128 | 2,425,000 | | | | | |

2 事業実施状況に対する評価

| | | |
|---------------------|---|--|
| 事業の必要性 | 当該事業の必要性について記載しています。 | |
| 事業実施状況に対する分析(課題の抽出) | 前年度の事業実施状況を踏まえ、「事業成果」と「事務効率」の視点から課題を抽出し、分析した結果をそれぞれ記載しています。 | |
| 事業成果 | ごみの減量化・資源化を目的に、環境事業センターや寒川広域リサイクルセンターなどの施設見学会を実施したほか、市民まつりや環境フェアなどでのパネル展示などを通じて啓発活動を実施した。27年度は、環境事業センター、市民相談課との3課連携のもと、行政提案型協働推進事業を市民活動団体とともに実施し、なんでも夜市において、資源循環課は4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)の周知啓発を、環境事業センターはリサイクル品出張展示を、市民相談課は不用品バンクの紹介を行った。しかしながら、施策目標である「1人1日あたりの資源物を除いたごみ排出量」、「リサイクル率」とともに目標値を達成できていない状況であり、従前どおりの啓発活動だけでなく、新たな拡充施策を展開する必要がある。 | |
| 事務効率 | 従前の取り組みの中である程度実施手法が確立されているが、市民によりわかりやすい啓発手段を新たに拡充するに事務負担の増が見込まれることから、目的やターゲットをある程度絞った啓発を行うなど効果的かつ効率的な実施手法の再検討が必要 | |
| 事業成果及び事務効率に対する評価 | <p>結果があがっておらず、効果的かつ効率的な実施手法の再検討が必要</p> <p>「事業成果及び事務効率に対する評価」における評価結果を基に、改善の方向性を次の中から選択し、記載しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった 実施手法は効率的かつ効果的であり、成果は今後見込める 成果があがっているが、実施手法は効率的でない 成果があがっておらず、効果的かつ効率的な実施手法の再検討が必要 実施手法を十分検討したが、成果が見込めない(廃止) | |

3 今後の事業展開(事務改善)

| | | |
|------------------|---|--|
| 改善の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> 事業(活動)の効率・成果を高める 事業(活動)の効率を上げる 事業(活動)の成果を高める 事業の廃止 | |
| 事業(活動)の効率・成果を高める | <p>改善の方向性に基づき、これまでの検討結果を踏まえて具体的に取り組む内容を記載しています。</p> <p>ごみの減量化に大きな効果をもたらすと考えられる古紙類の分別の強化に重点を置き、このため、ごみの減量化・資源化の啓発の取り組みを実施するにあたり、「古紙類の分別の強化」を基本指針とし、28年度、29年度を啓発強化期として捉え、市民への周知啓発の機会を増やす取り組みを推進する。</p> <p>具体的には、自治会等への環境学習の案内、デジタルサイネージ等の活用、市広報紙への記事掲載を複数回実施するほか、より効率的な周知啓発の観点から、直接ごみを分別する機会の多い層をターゲットにするなどの工夫を行う。</p> <p>なお、環境学習等によっては様々な古紙類を用意して実際に分別したり、広報によっては資源化による金銭的なメリットを説明するなど、ごみの減量化・資源化を身近なものとして捉えられるような工夫を行う。</p> | |

4 事業を構成する活動に係る改善内容

| 事業を構成する活動(27年度) | | | | | | |
|-----------------|---|---------------------|-------------------|-------------------|---------|---------|
| 項番 | 活動内容 | 活動指標 | 目標値 | 実績値 | 予算額(円) | 決算額(円) |
| 4 | 当該事業を活動単位で細分化した上で、具体的な活動内容を記入しています。この項目では前年度の活動実績が記載されています。 なお、「項番」は1ページ目左上の「No.(事業番号)」を用いて「0-1, 2, 3…」としています。 ※予算・決算額が0のものは空欄としています。 | | | | | 95,172 |
| 4 | | | | | | 69,134 |
| 4-5 | 清掃のあらましの作成 | 事業結果の作成時期 | 10月 | 12月 | | |
| 4-6 | 生ごみ処理機(公共施設)の保守点検、修繕等 | 点検等の回数 | 年11回 | 年11回 | 903,000 | 884,382 |
| 4-7 | マイバッグ推進会議への参加 | 会議参加回数 | 年10回 | 年8回 | | |
| 4-8 | レジ袋削減を推進する | キャンペーンの実施 | 2回 | 2回 | 100,000 | 100,000 |
| 4-9 | ごみに関する情報の発信 | ホームページ等の活用 | 平成27年度末まで(その後も継続) | 平成27年度末まで(その後も継続) | | |
| 4-10 | 行政提案型協働推進事業の実施 | 市民まつりへの参加等協働推進事業の実施 | 平成27年度末まで | 平成27年度末実施完了 | 865,000 | 865,000 |

| 27年度活動の結果を踏まえた28年度以降の改善内容 | | |
|---------------------------|---|--------------|
| 項番 | 改善内容 | 経営改善方針への位置付け |
| 4-1 | 古紙類資源化の啓発を強化する | 位置付けない |
| 4-2 | これまでどおり適切に実施する | 位置付けない |
| 4-3 | これまでどおり適切に実施する | 位置付けない |
| 4-4 | これまでどおり適切に実施する | 既に位置付けている |
| 4-5 | これまでどおり適切に実施する | 位置付けない |
| 4-6 | これまでどおり適切に実施する | 位置付けない |
| 4-7 | これまでどおり適切に実施する | |
| 4-8 | これまでどおり適切に実施する | |
| 4-9 | デジタルサイネージ活用等さらなる情報発信を強化する | |
| 4-10 | 行政提案型協働推進事業は平成27年度をもって終了となったが、協働推進事業で実施した「なん店を引き続き実施する。 | |

1 ページ目の検討結果を踏まえ、前年度の各活動それぞれの改善内容を記載しています。
項番については「事業を構成する活動(27年度)」に対応しています。

「茅ヶ崎市経営改善方針(2015年度版)」における行革重点推進事業への位置付けの有無を記載しています。「新たに位置付ける」を選択した場合は、別途管理表を作成し、その進捗を管理していきます。

項番は「事業を構成する活動(28年度)」と対応しており、活動を増やした場合は新たに枝番の数字が振られています。

| 事業を構成する活動(28年度) | | | | | | |
|-----------------|---------------------------|------------|-------------------|-----|-----------|--------|
| 項番 | 活動内容 | 活動指標 | 目標値 | 実績値 | 予算額(円) | 決算額(円) |
| 18-1 | 環境学習等啓発事業を開催する。 | 開催回数 | 年30回 | | 13,000 | |
| 18-2 | 環境学習開催に伴う調整を行う(アンケートを含む)。 | 満足度 | 85% | | | |
| 18-3 | 小学校4年生用副読本の作成等、啓発教材を作成する。 | 作成部数 | 2,290部 | | 447,000 | |
| 18-4 | ごみ通信ちがさき等の作成、配付等を行う。 | 発行回数 | 年2回 | | 1,335,000 | |
| 18-5 | 清掃のあらましを作成する | 事業結果の作成時期 | 10月 | | | |
| 18-6 | 生ごみ処理機(公共施設)の保守点検、修繕等を行う。 | 点検等の回数 | 年11回 | | 903,000 | |
| 18-7 | マイバッグ推進会議に参加する。 | 会議参加回数 | 年10回 | | | |
| 18-8 | レジ袋削減を推進する。 | キャンペーンの実施 | 2回 | | 100,000 | |
| 18-9 | ごみに関する情報を発信する。 | ホームページ等の活用 | 平成28年度末まで(その後も継続) | | | |

予め予定していた平成28年度の活動を記載しています。
(27年度第2回提出時の業務棚卸評価に記載された28年度活動セルに対応)
項番については第3次実施計画事業一覧表の「No.」と対応しています。

| 【再設定項目】事業を構成する活動(28年度) | | | | | | |
|------------------------|-------------------------|--------------------|-----------|-----|--------|--------|
| 項番 | 活動内容 | 活動指標 | 目標値 | 実績値 | 予算額(円) | 決算額(円) |
| 18-9 | ごみに関する情報を発信する。 | 広報誌、デジタルサイネージの活用回数 | 年5回 | | | |
| 18-10 | なんでも夜市での3課連携啓発事業を行う。 | 事業実施 | 平成28年度末まで | | | |
| 18-11 | 自治会向け環境学習講座案内を送付する。 | 実施時期 | 6月 | | | |
| 18-12 | ごみ減量化・資源化キャッチフレーズを募集する。 | 決定時期 | 1月 | | | |

「27年度活動の結果を踏まえた28年度以降の改善内容」等を踏まえ、予め予定していた平成28年度の活動において変更が生じたものについて、活動内容等の再設定を行った結果を記載しています。